

## 4-3 緑と水のまちづくり方針

### (1) 基本的考え方

将来の姿に『文京区の特徴である豊かな緑に囲まれた、環境に優れたまち』を掲げています。

- 緑と水のまちづくり方針では、これを実現することを目標として、公園・庭園を保全するとともに、見える緑の量（緑視率）（※1）を高めるため、区民等と区が協働して身近な緑の保全と育成を進め、それらの緑を大規模な緑地や神田川の水辺とつないで、緑と水のネットワーク軸を形成します。
- 公園整備にあたっては、地形などの自然環境を生かすとともに、様々な利用者が多面的に利用できる公園づくりを計画的に進めます。また、神田川や池泉、湧水などの親水空間\*の整備に努めるとともに、市街地に潤いを与える水辺空間を形成します。

#### 方針の構成概要

- 1) 公園・庭園などの緑と水のまちづくりの推進 …… 様々な利用者が多面的に利用できる公園づくり、公園の計画的な再整備、オープンスペース\*の創出、公園・庭園の保全、適切な維持・管理 など
- 2) 宅地内の緑のまちづくりの推進 … 宅地内の緑の保全と緑化、見える緑の量（緑視率）の増加、樹林地の保全、屋上緑化 など
- 3) 緑と水のネットワーク軸の形成 … 主要幹線道路や生活幹線道路における街路樹や植栽帯の保全と緑化の充実、ネットワーク軸上の連続的な緑化 など



目白台運動公園

※1：緑視率とは、人の普通の視野の範囲で撮影された写真を用い、その中に占める樹木等の緑の面積占有から算出される緑の割合をいいます。

## (2) 緑と水のまちづくり方針

### 1) 公園・庭園などの緑と水のまちづくりの推進

- 公園の整備や再整備にあたっては、地形などの自然環境を生かすとともに、少子高齢化など地域社会の変化を踏まえながら、地域の潤いや憩い、健康づくりの場として、様々な利用者が多面的に利用できる楽しめる公園づくりを計画的に進めます。また、バリアフリー<sup>\*</sup>やユニバーサルデザイン<sup>\*</sup>への配慮、防災施設の設置など、安全・安心で誰にでも親しまれる公園づくりを進めます。
- 公共公益施設や教育施設、身近な公園などの緑を充実するとともに、道路脇の小スペースを生かしたポケットパーク<sup>\*</sup>や、公開空地<sup>\*</sup>をはじめとするオープンスペース<sup>\*</sup>の創出及び緑化など、身近な緑を増やすきめ細かな取り組みを進めます。
- 小石川後楽園、六義園、新江戸川公園、占春園など池泉のある特徴的な庭園の自然環境や湧水の保全に努め、文京区の個性を継承します。また、神田川や池泉、湧水などの親水空間<sup>\*</sup>の整備に努めます。
- 公園・庭園や街路樹などの緑の充実や、適切な維持・管理に取り組みます。
- 再開発や大規模な敷地における建築物の建設などにおいては、良好な住環境の形成や低炭素型まちづくり<sup>\*</sup>に寄与する緑地の確保を誘導します。

### 2) 宅地内の緑のまちづくりの推進

- 緑豊かな住環境を形成するため、緑の保全のための助成制度の活用や緑地確保のための施策などにより、区民等と区が協働して、宅地内の緑の保全と緑化の推進に努めます。
- 景観協議や助成制度などを活用しながら、生け垣など敷地の道路に面する部分や建築物の壁面、坂道の擁壁などにおいて、見える緑の量（緑視率<sup>\*</sup>）の増加を誘導します。
- 低層住宅市街地などの戸建住宅や、寺社などの敷地内の緑、崖線に残る斜面緑地などについては、樹林地の保全に努め緑を確保します。
- 建築物の断熱性を高め省エネルギー化などにつながる、屋上緑化を進めます。



崖線に残る樹林地（暗闇坂）



神田川

### 3) 緑と水のネットワーク軸の形成

緑と水のネットワーク軸は、大規模な公園・庭園、寺社・教育施設等、風致地区\*などのまとまった緑の空間や低層住宅市街地と神田川を結ぶ軸です。

- 緑と水のネットワーク軸を構成する主要幹線道路や生活幹線道路においては、街路樹や植栽帯の保全と緑化の充実を進め、快適な歩行空間や良好な沿道景観の形成に努めます。
- 緑と水のネットワーク軸のうち、主要生活道路や生活道路と、これらの沿道の宅地などに配置される軸においては、敷地の道路に面する部分の緑化の誘導などにより、連続的な緑化を進めます。
- 神田川沿いにおいては、斜面緑地や水辺を楽しめる空間づくりを進めます。

図4-4 緑と水のまちづくり方針図

